

5月の京都

葵祭

5月15日(雨天順延)

5月は京都の三大祭の日取る、葵祭りの時期です。祭りは下鴨神社と上賀茂神社の例祭、正式名は賀茂祭で知られています。日本三勅祭(賀茂祭、石清水祭、春日祭)の一つでもあり、参列する人や車、社殿や家々を葵の葉で飾ります。行列は午前10:30に京都御所を出発、王朝風の優雅な列が市内を歩き、下鴨神社を経て(11:40着 14:20発)、上賀茂神社へと向かいます(15:30頃到着) ※当日は非常に込み合うことが予想されます。

春季非公開文化財特別公開

2012年4月27日～5月6日(9:00～16:00受付終了)

普段非公開の寺院の文化財を中心に、14ヶ所が特別公開されます。

- ※ 「知恩院三門」は、5月31日までの拝観です。
- ※ 「法住寺」は、5月7日までの拝観です。
- ※ 「東福寺退耕庵」は、5月4日までの拝観です。
- ※ 15名様以上の団体は、団体割引あり、詳しくは京都古文化保存協会まで。 電話：075-561-1795

上賀茂神社	直会殿より本殿、権殿(国宝)参拝、遷宮展 涉溪園、衣冠束帯着付、他
大徳寺本坊	方丈(国宝)、玄関(国宝)、狩野探幽筆襖絵(重文)、史跡特別名勝庭園、他
大徳寺真珠庵	方丈(重文)、長谷川等伯襖絵(重文)、曾我蛇足筆襖絵(重文)、 名勝庭園「七五三の庭」、通遷院(重文)他、
廬山寺	本堂、本尊阿弥陀如来像、「源氏の庭」、寺宝、重文「選択本願念仏集」、他
清浄華院	大殿、是心堂、重文「泣不動縁起」、他
下鴨神社	国宝 本殿特別参拝、神服殿「開かずの間」、重文「大炊殿」、御車舎、他
寂光院	書院(初公開)、谷口香嶠筆襖絵、日本尊地藏菩薩立像(重文)、 茶室「孤雲」、宝物殿、他
檀王法林寺(初公開)	本堂(市指定文化財)、本尊阿弥陀如来立像、阿弥陀如来坐像(市指定文化財)、 袋中上人像、琉球将来宝物「黒漆塗楼閣人物飾棚」「朱漆塗り垣松螺鈿卓」(共に府 指定文化財)、他
知恩院三門	国宝 三門二層内部、狩野探幽はじめ狩野派筆天井画、釈迦牟尼坐像、 十六羅漢像、白木の棺、他
法住寺(初公開)	本堂、阿弥陀堂、秘仏、法住寺陵御前立後白河法皇像、四十七士御木像、他
法性寺(初公開)	本堂、本尊千手観音立像(国宝)、不動明王像、薬師如来像、阿弥陀如来像、地藏 菩薩立像、他
東福寺退耕庵	客殿(府指定文化財)、茶室「作夢軒」、庭園、小野小町百歳像、小町玉草地蔵、他
東寺・五重塔	国宝 五重塔初層内陣、他
仁和寺、金堂・観音堂	金堂(国宝)、阿弥陀三尊像、観音堂(重文)、千手観音像、二十八部衆像、他

※※ 期間中、法要等で拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。 ※※

鴨川をどり

先斗町歌舞練場 (5月1日～24) 12:30、14:20、16:10(1日3回公演)

先斗町花街の芸妓・舞妓の舞踊公演は明治5年初演の歴史。毎年創意工夫された演目は定評があり、豪華絢爛の舞台は人々を魅了します。

入場券(お茶券付)4,500円(予約制)

行事と祭り

- 1日 **競馬会足汰式（くらべうまえあしぞろえしき）** 上賀茂神社（13:00頃～）
5日の賀茂競馬に先立ち、馬の年齢、遅速を実際に見て、組合せを決定するものです。烏帽子に浄衣の装束で騎乗し、本格的に馬にムチを入れ試走する姿は迫力があります。
- 1日～4日 **大念仏狂言** 千本えんま堂（1、2日 19:00～ 3、4日 13:00～、18:00～）
京都三大念仏狂言の一つ。有声の念仏狂言です。足利義満が普賢象桜を賞でたのがきっかけで、花の盛りに行われます。
- 1日～4日 **神泉苑大念仏狂言** 神泉苑（1・2日 13:30～18:00、3・4日 13:30～18:00、19:00～21:30）
壬生狂言から分かれたもので、壬生狂言と同じく、約30番ある曲目の中から、毎日数番が順次上演されます。
- 3日 **流鏝馬神事** 下鴨神社（13:00頃～15:30頃 雨天決行）
葵祭の前儀で、祭の露払いとして古くから行われてきた神事で、狩装束の射手が馬上の妙技（14:30～15:30頃）を披露します。※12:00から一部有料席2,000円で販売されます。（予約不可）
- 3日 **狸谷山大般若祈願会** 狸谷山不動院（11:00～11:30頃）
不動明王の尊前にて護摩を焚き、参拝者全員でゆっくりとお経を唱え祈願をします。参拝者にはお加持が施されます。
- 3日～5日 **市民煎茶の会** 二条城・清流園（10:00～15:00 雨天決行）
城内の清流園で行われ、各流派による煎茶席が設けられます（1日に2流派）。国宝の二の丸御殿、狩野派の襖絵、二の丸庭園も同時に観賞できる豪華な催しです。茶席券：2,000円（二席と入城券付）当日券は8:45頃から窓口で販売。（売切れの場合あり）
- 4日 **斎王代（さいおうだい）女人列御禊（みそぎ）晋二** 上賀茂神社（10:00～）
葵祭の前儀。行列の中心となるヒロインの斎王代には市内の未婚の女性が選ばれ、祭に奉仕する斎王代以下女人列に参加する50名余りの御禊の儀が行われます。
- 5日 **例大祭** 地主神社（13:00行列出発、15:00頃～例大祭）※雨天の場合行列は中止
清水坂を武者、白川女、稚児が練り歩き、その後、家内安全を願う祭典です。
- 5日 **藤森祭 駟馬神事** 藤森神社（9:30頃～）
午前中、藤森神社の御祭神である早良親王や神功皇后の東征に由来する武者行列や鼓笛隊等が神輿3基と共に氏子町内を巡行し、午後からは境内にて駟馬神事（13:00、15:00）が行われます。1日～4日には当町祓いやお位授けの儀式、節句の祭りなども開催されます。
- 5日 **競馬会神事（くらべうまえしんじ）** 上賀茂神社（10:00～）
寛治7年（1093年）に宮中で行われていたものを、神社に奉納されて以来続いている神事です。競馬会の儀が13:00から行われ、平安貴族衣装の騎手が乗った左右の馬の競駟は14:00頃より始まります。
- 5日 **歩射神事（ぶしゃしんじ）** 下鴨神社（11:00～）
宮中古式による葵祭の露払いの前儀で、弦（つる）の音で邪鬼を祓う神事です。鏑矢（かぶらや）で悪鬼を祓い、大的を射る神事や数々の弓矢の神事を奉納し、葵祭の無事を祈ります。
- 5日 **泰山府君祭 端午大護摩供（たいざんふくんさい）** 赤山禪院（9:00～14:00）
大護摩供が雲母（きらら）不動堂で行われ、御詠歌を奉納。蓬の大祓の輪が設けられます。
- 5日、13日 **今宮祭** 今宮神社（神幸祭 5日 10:00～本社出御、還幸祭 13日 12:00～お旅所出御）
平安時代から続く、疫病の退散を願って行なわれた紫野御霊会の流れをくむ祭り。5日、神幸祭は神輿三基と剣鉾を中心に氏子域内を巡行しながらお旅所（千本北大路）へ向かいます。13日、還幸祭はお旅所より今宮神社へと神輿を遷します。雨天決行

- 6日 **五月満月祭(うえさくさい)** 鞍馬寺 (19:00～ 雨天決行)
5月満月の宵に、鞍馬山に祀られている大鷹王尊に人類の幸福を祈願されます。灯の蓮花を一斉に尊天に捧げる光景は幻想的です。
- 12日 **御蔭祭** 下鴨神社 (9:30～)
葵祭に先駆けて、神霊を下鴨神社に迎える為の神事で、下鴨神社の糺の森で行われる「東遊(あずまあそび)」の舞楽(16:00～16:30頃)は趣きのある舞です。
- 12日、13日 **菅大臣祭と狂言** 菅大臣天満宮(菅大臣神社 14:00～)
菅原道真の邸跡と伝えられる神社の菅公を偲ぶ祭りです。12日(14:00～)には山伏のお練り、13日(14:00～)には拝殿にて茂山千五郎社中による狂言奉納があり自由に鑑賞できます。
- 13日 **松尾大社還幸祭** 松尾大社 (18:00頃～19:30)
葵と桂で本殿、神輿その他を飾り付け、神職の冠をはじめ、供奉その他関係者も冠や烏帽子に葵と桂をつけるところから、古来より「松尾の葵祭」別名「松尾の国祭」ともいわれています。午前中に各御旅所から出発した神輿が18:00頃松尾大社に到着した後、著御祭が執り行われます。
- 13日 **新日吉祭(神幸祭)** 新日吉神宮、妙法院 (12:00～、雨天決行)
正午、神幸出立祭につづき馬場御供の儀、妙法院門跡により道中安全を祈願して法楽が行われます。12:30頃、鳳輦を中心に幸御鉾、稚児などの行列が氏子地域を巡行します。祭官が祝詞を述べ、門跡が読経する神仏混交の珍しい光景が見られます。
- 18日 **御霊祭** 上御霊神社(宵宮 17日 19:30～和太鼓奉納、18日 11:30～渡御之儀、12:30～13:00頃祭列出発、18:30～19:30頃祭列帰着)
京都で最も古い祭礼といわれています。神輿の巡行があり、牛車も出る盛大なものです。宵宮では17日、御霊太鼓の会による和太鼓の奉納があります。
- 20日 **三船祭** 車折神社(行列 13:00～、船遊び 14:00前～15:30頃) 小雨決行
嵐山渡月橋付近で、龍頭船など約20隻の船が扇流しなど王朝の優雅な船遊びが再現されます。正午に車折神社にて神幸祭があります。
- 20日 **例大祭、神幸祭** 恵美須神社(祭典 9:30頃、神輿 11:00、13:30行列出発)
匂びす様の「お渡り」といい、氏子三十六ヶ町を巡行します。
- 20日 **御霊祭** 下御霊神社(10:00～神幸列、10:30～神輿予定) ※雨天決行(予定)
御所の鎮守社です。神輿の巡行があり、その神輿は京都でも最大級のものといわれています。前日の宵宮では19:00頃から子供達が子供神輿と2基の「十二灯」を担いで寺町を練り歩きます。
- 27日 **嵯峨祭** 野宮神社・愛宕神社(27日神輿 10:00頃～お旅所出御)
野宮神社と愛宕神社の祭りで、元禄4年、松尾芭蕉も見学したという記録があります。清涼寺南西側にある御旅所にこの度修復された神輿が並びます。20日は神幸祭、27日には神輿、剣鉾、稚児行列が嵯峨野一帯を巡行します。
- 28日 **業平忌(なりひらき)** 十輪寺 (12:00～)
平安時代の六歌仙の一人、在原業平は晩年この地に住み、塩を焼いて風流をたしなんだといわれています。法要は三弦による読経などが行われます。
- 30日 **御饗法講(おせんぼうこう)** 三千院 (11:00～法要)
本来御所で行われていた天皇家の回向法要です。声明と雅楽により平安絵巻さながらの三千院を代表する法要です。
- 31日・6月1日 **第63回 京都薪能** 平安神宮 (16:30開場、17:30開演)
初夏の風物詩として親しまれている京都薪能。東山に夕闇が迫り篝火が始まると、平安神宮の朱塗りの社殿がライトアップされ、特設の能舞台がくっきりと現れ、荘厳な雰囲気は辺りを包みます。観世・金剛・金春・大蔵の各流派の優れた演者の競演は、能・狂言・小舞・仕舞へと続き、観客を幽玄の世界に誘い込みます。
※ お席は先着順、自由席：前売券 3,000円、当日券 4,000円。(雨天順延)

春の特別公開

- 拾翠亭** **一般公開** 3月1日～12月27日の金・土曜日と時代祭(9:30～15:30 閉門)
京都御苑内の拾翠亭は、江戸後期建造の五摂家の一つであった九条家の別宅として使用され、現存する貴族の茶室としては数少ない貴重な文化遺産です。
- 天龍寺** **雲龍図 特別公開** 3月3日～5月6日(10:00～15:30 受付終了)
法堂の天井に描かれている、加山又造画伯筆の雲龍図が公開されます。
※期間中、急遽拝観停止の場合あり。
- 平岡八幡宮** **花の天井特別公開** 3月9日～5月20日(10:00～15:30 受付終了)
神殿内陣天井を飾る44枚の極彩色の花絵が公開されます。
- 高台寺** **春の特別展** 3月10日～5月6日(9:00～17:00 受付終了 ライトアップ 21:30迄)
北政所ゆかりの寺宝などの特別公開。桃山時代の傑作といわれる高台寺蒔絵の調度品は、その代表作といえます。小堀遠州作の庭園は、国の史跡および名勝に指定されています。
- 圓徳院** **春の特別展** 3月10日～5月6日(10:00～17:00 受付終了 ライトアップ 21:30迄)
高台寺の塔頭である圓徳院は、秀吉が築城した伏見城の化粧御殿を移築したもので、長谷川等伯の襖絵もあります。国の名勝に指定されている北庭は桃山時代の気風が伝わる枯山水庭園。
- 醍醐寺** **霊宝館の特別公開** 3月11日～5月20日(9:00～16:30 受付終了)
桜の時期に合わせ、霊宝館が特別に公開されます。
- 銀閣寺** **東山文化の原点 国宝東求堂** 3月17日～5月6日(10:00～15:30 受付終了)
室町幕府八代将軍足利義政によって造営された銀閣寺。茶、花、香道の原点となった国宝東求堂 同仁斎や弄清亭の公開、奥田元宋、与謝蕪村、池大雅の襖絵が拝観できます。
(入山料500円他1,000円要) ※行事のため急遽中止、変更の場合あり。
- 天龍寺** **宝厳院庭園の特別公開** 3月17日～5月31日(9:00～17:00 閉門)
江戸時代の名所案内「都林泉名勝図絵」に紹介された寺院庭園です。嵐山を借景とする「獅子吼(ししく)の庭」は格別な趣があります。本堂襖絵「風河燦燦三三自在」(田村能里子画伯筆)も公開されます。※本堂襖絵は都合により拝観停止の場合あり。6月1日～6月30日は庭園のみの公開
- 長楽寺** **建礼門院寺宝展** 3月19日～5月10日(9:00～17:00 閉門)
安徳天皇御衣の仏幡など、建礼門院の遺宝が公開されます。
- 青蓮院** **好文亭特別公開** 3月20日～5月5日の土・日・祝日(10:00～15:00 受付終了)
江戸時代1788年に天明の大火によって御所が炎上した際、後桜町上皇は青蓮院を仮御所として避難されました。好文亭はその際上皇が御学問所としてお使いになった由緒正しき建築物です。期間中、正式なお点前をお楽しみ頂けるお茶会が行なわれます。
- 車折神社** **富岡鉄斎展** 3月20日～5月5日(前もって完全予約制 2～30名様迄の限定)
富岡鉄斎の作品と愛用の品々が展覧されます。(料金:1,500円 当日予約不可)
- 東寺** **観智院・宝物館 特別公開** 3月20日～5月25日(9:00～17:00 受付終了)
東寺真言宗総本山。密教美術の宝庫です。塔頭観智院では、宮本武蔵の襖絵等が特別公開されます。4月27日～5月25日は、五重塔初層内部も特別公開されます。
- 瑠璃光院** **春の特別公開** 3月20日～5月31日(10:00～16:30 受付終了)
樹齢100年を超える数百本の花馬酔木が青紅葉に映えます。
- 大徳寺・黄梅院** **春の特別公開** 3月22日～5月13日(10:00～16:00 受付終了)
天文二十年(1551)織田信長の父、信秀の追善菩提の為、信長により建立された寺院。本堂、庫裡、唐門は重要文化財で、庫裡は日本の禅宗寺院において現存する最古のもの。
※法事により拝観停止になる場合あり。
- 大徳寺・総見院** **春の特別公開** 3月24日～5月6日の土・日・祝、5月1日・2日は公開 (10:00～16:00)
織田信長の菩提所。信長公木像(重文)が公開されます。

- 大徳寺・興臨院** **春の特別公開** 3月24日～6月3日(10:00～16:00)
戦国武将の縁を伝える前田家の菩提寺。本堂・表門・唐門(いずれも重文)は室町期創建の禅宗建築の代表作です。
- 相国寺** **春の特別拝観** 3月24日～6月4日(10:00～16:00 受付終了)
足利三大将軍義満のゆかりの、金閣寺、銀閣寺を末寺にもつ臨済宗相国寺派の大本山です。わが国最古の法堂に描かれた狩野光信筆の鳴き龍は見事です。又、方丈の枯山水庭園も趣があります。
※予告なく拝観停止になる場合あり。
- 洛東遺芳館** **春の特別公開** 4月1日～5月5日(10:00～16:00 閉門、月曜休館・祝日は開館)
江戸時代の貴重な財産が残る豪商の居宅です。美術工芸品や母屋の一部を見学することができます。月曜日が祝日の場合は開門されます。
- 実相院** **春の特別公開 鶴の間** 4月1日～5月8日(9:00～17:00 閉門)
洛北の門跡寺院、その女院御所ともいわれる雅な鶴の間の襖絵が公開されます。
- 天龍寺** **弘源寺** 4月1日～5月17日(9:00～17:00 閉門 拝観停止の場合あり)
大本山天龍寺境内にある塔頭寺院の一つで、格式の高い禅寺です。細川家ゆかりの本堂から見事な嵐山の景観が望めます。竹内栖鳳の日本画や毘沙門天立像(重文)などの寺宝が公開されます。幕末の刀傷も見所の一つです。
- 仁和寺** **霊宝館 春の公開** 4月1日～5月27日(9:00～16:30 閉門)
仁和寺名宝の数々が公開されます。
- 大覚寺** **嵯峨御所 大覚寺の名宝** 4月1日～5月31日(9:00～16:30 受付終了)
2012年大覚寺名宝展では、「五大明王像」をはじめ、旧嵯峨御所大覚寺所蔵の寺宝を展観。
- 清凉寺** **霊宝館の特別公開** 4月1日～5月31日(9:00～17:00 閉門)
国宝の阿弥陀三尊像、重文の釈迦十大弟子像など多数の宝物が拝観できます。
- 松尾大社** **山吹まつり** 4月10日～5月5日(9:00～16:00)
庭園は昭和の名作庭家、重森三玲氏遺作のものです。境内には約3000株の山吹が植えられています。(庭園宝物館拝観料500円) ※ライトアップと奉納コンサート 5月3日・4日(18:00～21:00)
- 妙心寺** **大法院・庭園の春季特別公開** 4月10日～5月10日(9:00～16:00 受付終了)
茶室へ続く露地庭の新緑は春の訪れを感じさせます。
- 東福寺** **聖一国師の遺宝展「東福寺の国宝」** 4月21日～5月6日(9:00～16:00 受付終了)
新緑の季節に文化財が特別公開されます。特別名宝展は光明宝殿にて、国宝の三門も公開されます。
- 三室戸寺** **つつじ、しゃくなげ園 開園** 4月21日～5月13日(8:30～16:00 受付終了)
宇治の三室戸寺が、恒例の花の園開園です。つつじ2万株、しゃくなげ1千株が公開、紫、ピンク、白の花が見事に咲き誇ります。
- 寂光院** **春の特別公開** 4月27日～5月6日(9:00～16:30 受付終了)
平成12年に焼損し、収蔵庫に安置されている旧本尊地藏菩薩立像、並びに建礼門院御庵室跡も公開されます。
- 得浄明院** **戒壇めぐりと一初鑑賞会** 4月29日～5月13日(9:30～16:00 受付終了)
信州善光寺の別院として建立された尼寺、東山に佇む花のお寺です。真間の中を巡る戒壇めぐりができます。一初...アヤメ科の花、アヤメ類の中で一番早く咲き出す事から名付けられたといわれる。
- 神護寺** **寺宝の特別公開** 5月1日～5日(9:00～16:00 受付終了)
所蔵の書画の公開と、国宝の平重盛像、同じく国宝の源頼朝像等公開されます。
- 杉本家** **一般公開 「端午の節句」展** 5月1日～6日(13:00～17:00 受付終了)
江戸後期から明治期の京商家の床飾りの趣を伝える、端午の節句飾りをご覧頂けます。
- 安楽寺** **春の特別公開** 5月3日～6日、5月25日～27日、6月2日～4日(9:30～16:30 閉門)
5月下旬はさつきが美しい安楽寺の庭園が特別公開されます。
- 詩仙堂** **文山遺宝展** 5月25日～27日(10:00～16:00 受付終了 庭園は17:00 閉門)
書を中心とした石川文山作の遺品が公開されます。
※5月23日は文山忌のため一般拝観休止

床びらき

鴨川納涼床 (5月1日～9月30日 昼の営業は5月、9月のみ)

鴨川の納涼床は京の夏の風物詩。鴨川西岸の二条から五条のあいだを流れるみそぎ川に、料理旅館、割烹店など90軒余りが床を並べます。

貴船の川床 (5月1日～9月30日)

京の奥座敷、貴船の川床は、清流貴船川のせせらぎを間近にして京料理が楽しめます。市内より5～10度気温が低いいため、より一層さわやかな空気に包まれ、新緑の溪谷美も堪能できます。川床は10軒程です。

高雄の納涼床 (4月上旬～11月上旬 ※夜の営業は6月上旬から9月中旬のみ)

街中より3～5度気温が低く、新緑の紅葉を眺め、せせらぎの音と蝉の鳴く声を聞きながらお料理が楽しめます。6月中旬～7月上旬の夜は、清滝川に飛び交う蛍の鑑賞もできます。

岡崎回廊 十石舟めぐり

3月29日～5月6日 9:30～16:30 (15分毎に出発)

岡崎周辺で、舟めぐりがお楽しみ頂け、春の風情を満喫することができます。

乗車券は当日直接お求めくださいませ。(ゴールデンウィーク中は混み合う事が予想されます。)

- ☆ 予約不可、所要時間約25分(往復約3キロ) 大人1,000円、小・中学生500円
- ☆ 天候、自然状況などにより、桜がご覧頂けない場合もございます。
- ☆ 気象状況により運休する場合がございます。※乗船中は飲食、喫煙不可です。
- ☆ 当日の混雑状況お問い合わせ 080-6158-9703、他お問い合わせ 075-321-7696
- ☆ 繁忙期には、8:45～17:30 発まで運航する場合もあります

蹴上浄水場一般公開

5月5日～5月11日 (9:00～15:30 受付終了)

地下鉄蹴上駅すぐ、蹴上浄水場はつつじの名所としても知られ、開花時期に合わせて一般公開されます。

平成24年 夜間拝観、ライトアップ

東山	高台寺	3月10日～5月6日	日没～21:30 (受付終了)
	圓徳院	3月10日～5月6日	日没～21:30 (受付終了)
	青蓮院	4月28日～5月6日	18:00～21:00 (受付終了)
洛北	宝泉院	4月21日～5月6日	18:00～21:00 (閉門)

※※ 予定は、急遽変更の場合もございます ※※